

## 生徒心得

学校生活を規律あるものにするため、生徒の守るべき心得を次の通り定める。

本手帳と生徒証は常に携帯すること。

### 学校生活一般について

#### 1 登校及び下校

- (1) 始業10分前までに登校すること。なお、原則として、午前7時50分以前には登校しないこと。
- (2) 次に掲げる日は登校を禁止する。  
①12月29日から1月3日まで ②入学者選抜日  
③学校閉庁日 ④その他指定された日
- (3) 土曜日・日曜日又は国民の祝日等に登校を希望する場合には、学級担任又は顧問を通して許可を受けること。
- (4) 午後4時50分までに下校すること。(部活動等においては、顧問の許可を得て、時間を延長して活動することができる。)

#### 2 通 学

- (1) 欠席・遅刻・早退又は見学があらかじめ明らかな場合には、事前に所要の事項を生徒手帳に記入のうえ、学級担任に届け出ること。  
やむを得ない理由で当日欠席あるいは遅刻する場合には、午前8時から午前8時20分までに学級担任へ連絡すること。学校の認める理由により欠席する者は、学級担任又は顧問の許可を得て、公欠届を授業担当の先生に提出すること。
- (2) 欠席した者は、欠席後初めて登校した日に、所

要の事項を記入した生徒手帳を学級担任に提示すること。

(3) 忌引日数は以下の通りである。

- ① 1親等 7日以内
- ② 2親等 5日以内
- ③ 3親等 3日以内

(4) やむを得ず早退する時は、学級担任の許可を得ること。

(5) 登校後は放課後まで外出を禁止する。ただし、やむを得ない理由のあるときは担任に願い出て外出許可証の交付を受けること。

(6) 自転車通学は、許可制とする。(損害保険に加入していることを条件とする。)

(7) バイク及び自動車通学は禁止する。

### 3 礼 節

校内外を問わず、互いに礼節を持って接すること。

### 4 校内秩序

(1) 校内の諸設備や器物は大切に扱うこと。もし破損した場合は、学級担任又は係の先生に申し出るとともに、破損届を事務室に提出すること。現状回復については弁償要綱による。

校内の諸設備や器物を使用するものは、あらかじめ係の先生の許可を受けること。

(2) 特別教室を使用する時は、その規則を守ること。

(3) 弁当は、持参することを原則とする。

(4) 昼食は所定の時間に所定の場所で取ること。

(5) 校内を清潔に保つよう努めること。

清掃は互いに協力して丁寧敏速に行い、終了後、係の先生に報告すること。

(6) 印刷物の配布、掲示物、集会等を計画する時は、必ず顧問あるいは担任の許可を受け、生徒部に連絡したうえ実施すること。

(7) 電気器具やガス器具は、係の先生の許可を受けてから使用し、使用後は後始末を十分にすること。

(8) 校内での選挙運動・政治活動は禁止する。

### 5 校外生活

(1) 高校生としての自覚と誇りを持ち、行動を自律すること。

(2) 法律に触れるような行為や、校則に違反する行動をしてはならない。

(3) 学校の名のもとに他校を訪問するときは、引率の先生の指示に従い訪問すること。

(4) 問題が生じたときは、速やかに学校に連絡すること。

(5) アルバイトは原則として禁止する。ただし、やむを得ない事情により行う場合は担任に届け出ること。その場合も、学校生活に支障をきたさないよう注意すること。

(6) 校外での選挙運動・政治活動は原則的に禁止する。

### 6 所持品

(1) 所持品には、学年・組・氏名を記入しておくこと。

(2) 必要以上の金銭を学校に持参しないこと。

各自、所持品の管理に万全の注意を払い、盗難を未然に防止すること。

(3) 校内で所持品を遺失または紛失した者は、直ちに遺失物係の先生に届け出ること。

- (4) 校内で遺失物を拾得したものは、直ちにそれを遺失物係の先生に届け出ること。盗難等の事故があったときは、直ちに学級担任または生活指導部の先生に届け出ること。
- (5) 学習に必要なもの以外のものは、校内に持ち込まないこと。

## 7 服 装

### 制服着用に関する服装規定

平成21年4月1日制定

1 登下校を含む学校生活においては、必ず本校所定の制服を着用すること。なお制服は加工しないこと。

2 儀式的行事及び学校が指示するときは、以下に示す正装をすること。

#### (1) 冬服

着用期間は、原則として10月1日から翌年の5月31日までとする。

〈男子〉 上着、白のワイシャツ、ネクタイ、スラックス

〈女子〉 上着、白のワイシャツ、リボン、スカート又はスラックス

#### (2) 夏服

着用期間は、原則として6月1日から9月30日までとする。

〈男子〉 白のワイシャツ、スラックス

〈女子〉 白のワイシャツ、スカート又はスラックス

3 日常の登下校及び学校生活においては、以下の規定に従うこと。

#### (1) 冬服着用期間

① 校舎内では上着を着用しなくてもよい。

② 男子は、ネクタイを必ず着用すること。

③ 女子は、リボン又はネクタイを必ず着用すること。

④ 女子がスカートを着用する時は、スカートの下にトレーニングパンツ、スウェットパンツなどをはいてはいけない。

⑤ 女子がスカートを着用する時は、無地（黒、ベージュ）のストッキング又はタイツを着用してもよい。

⑥ 防寒のために無地（紺、白、灰、黒、ベージュ）のベスト・カーディガン・セーター等の着用を認める。

⑦ 登下校時に限り、コート類の着用を認める。ただし、上着を着用していなければならない。  
※カーディガン・セーターでの登下校は厳禁。

#### (2) 夏服着用期間

① 白のポロシャツ（ワンポイントまで可）の着用を認める。

② ネクタイ及びリボンの着用を認める。

③ 防寒のために無地（紺、白、灰、黒、ベージュ）のベストの着用を認める。

※カーディガン・セーターでの登下校は厳禁。

## 8 頭髪及び服装

- (1) 髪は端正に整え、特異な長髪、パーマメント、染色・脱色等は禁止する。
- (2) 常に、華美に流れず、清潔で端正な身なりをすること。ピアス等の装身具及び化粧、マニキュアは禁止する。
- (3) やむを得ず正規の服装ができないときは、学級担任に申し出て、異装届を提出すること。

## 9 休日登校

- (1) 登下校時は、本校所定の制服を着用すること。
- (2) 使用教室、活動場所については、許可を受けて利用すること。

なお、使用後は清掃を行い、用具、器材等を復元すること。

- (3) 下校時には、先生にことわって下校すること。
- (4) 事故等がおきた場合、直ぐに先生に報告し、指示を受けること。

## 10 旅行

- (1) 宿泊を伴う旅行をする場合は、あらかじめ宿泊旅行届を担任に提出すること。
- (2) 「学校学生生徒旅客運賃割引証」の発行を希望する者は、保護者、学級担任及び生活指導部の許可を受けて、事務担当者に願出ること。

## 11 部活動

- (1) 部活動への加入は、生徒の自由意志によるが、全員参加が望ましい。加入した以上は活動に積極的に参加すること。
- (2) 部活動は、認められた時間、場所において、顧問の指導のもとに活動することを原則とする。

(3) 部活動及び同好会は校内において、活動できるものを条件とする。

(4) 放課後の活動は午後4時50分までとする。

ただし顧問の許可を得て、活動を延長することができる。その場合、居残り届を生活指導部に提出すること。

(5) 校外において活動する場合には、対外活動届を実施の3日前までに提出し、顧問の引率の下に活動を行うこと。

(6) 特別な場合を除き、定期考査の1週間前から考査終了時まで、一切の活動は禁止する。

## 勉学について

1 勉学は生徒の本分である。不断に学業に精励しなければならない。

### 2 考査

① 定期考査は学期毎に、中間考査と期末考査との2回とする。ただし、第3学期は1回とする。

② 考査は、十分に実力を発揮して、正々堂々と、受験すべきで、不正な行為や、その疑いを受けるような行為をしてはならない。

不正を行ったものは、当該定期考査の当該科目の得点を零点とする。

※ 筆記用具以外の所持品は、すべてまとめて鞆の中にしまっておくこと。

※ 鉛筆、消しゴム、定規等の貸借をしないこと。やむを得ない時は、監督の先生の許可を得てから借りること。

※ 下敷きは使用しないこと。やむを得ないときは、

監督の先生の許可を得て使用すること。

### 3 成績評定

① 学期の各科目の成績評価は考査成績に平常の学習状態などを考慮して10段階で表す。(ただし、3学年は5段階)

② 学年末の各科目の成績評価は5段階で表す。

### 4 履修・修得，進級及び卒業の認定は，本校の『教務規定』に従って行われる。

## 体育館・体育施設・体育用具等の利用について

- 1 放課後の体育館，校庭等の利用については，部長会の割当に従うこと。個人的な利用は，部活動を優先するために原則として認めない。
- 2 休日等臨時に使用するときには，許可を受けること。体育用具等の貸出しを必要とするときは，別に体育科の許可を得ること。
- 3 昼食時の休憩時間を除き，体育館や校庭での用具を使う運動は認めない。
- 4 昼食時の休憩時間における体育館の使用は，3学年に限る。
- 5 施設，用具を使用した後は元に戻し，体育科にその旨を届けること。
- 6 常に整頓，美化に注意し，使用後は清掃を行うこと。

## プール使用規定

- 1 使用者  
本校教職員及び生徒とする。本校関係者以外の使用について別に定める。
- 2 使用時間  
体育授業時と放課後の部活動時間を原則とし，それ以外は必ず体育科の教員の許可を得ること。
- 3 使用方法
  - (1) 出入口はプール入口とし，緊急時以外の非常口の出入りは禁止する。
  - (2) プール施設内は素足とする。(ただし，特別に

- 認められた者はプール専用の履き物でも良い。) (3) 水着は定められたものとし、帽子を必ず着用すること。  
(4) プールサイドで走ったり、ふざけた行為はしないこと。  
(5) 非衛生的行為を慎むこと。

## 部室使用規定

- 1 部活動以外の目的に使用しないこと。
- 2 使用時間は、原則として放課後とする。昼休み、早朝練習時、長期休業中等、特別に使用を希望する場合は、必ず顧問を通じて生徒部の許可を得ること。
- 3 部活動に必要なもの以外は持ち込まないこと。
- 4 火気使用は厳禁とする。(コーチ、卒業生も含む)
- 5 常に整理整頓に心がけ、清掃をおこたらないこと。
- 6 鍵は、職員室に保管すること。
- 7 使用時間以外、必ず施錠すること。
- 8 以上の規定が守られないときは、当該部室の使用を禁止することがある。

## 図書館の利用について

### 1. 利用時間

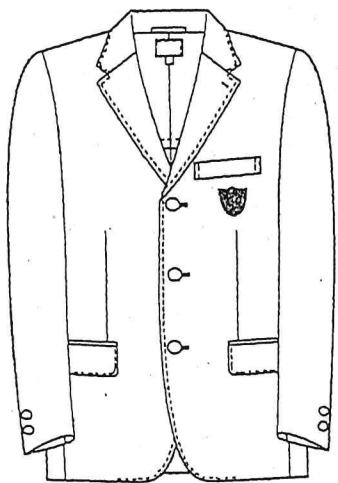
開館時間 (月～金) 午前8:40～午後4:40  
(土) 午前8:40～午後0:20  
休館日 学校行事日・休校日 (※その他休館については図書館入口に掲示)

### 2. 本の借り方

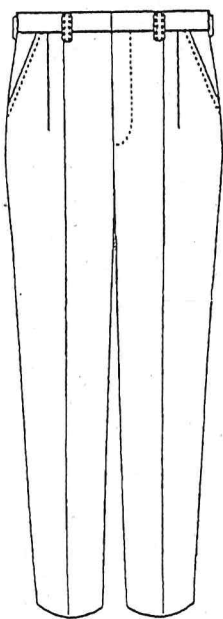
- (1) 貸出冊数と期間 1人3冊まで。2週間。
- (2) 借り方 係に学年・クラス・出席番号を言って手続きをしてもらう。(カウンターに全校生徒の貸出用バーコードが準備してある。)
- (3) 返し方 カウンターで係に直接渡すか、返却用ポストに入れる。
- (4) 読み切れない時 期限内に本を持参して、もう一度、貸出手続きをする。予約者がいる場合はできない。
- (5) 延滞について 返却期限に遅れた場合は、遅れた日数分、貸出停止にする。
- (6) 予約 借りたい本が貸出中の時は、カウンターで予約することができる。本が返却された時は通知文等でお知らせするので、3日以内に借りること。
- (7) 雑誌の貸出 最新号以外は借りることができる。
- (8) 「禁帯出」本 百科事典や辞典・地図等、このラベルの貼ってある本は原則として貸出し

男子

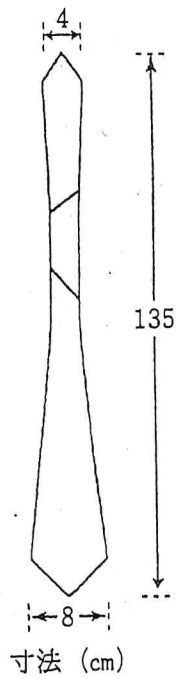
上着



スラックス

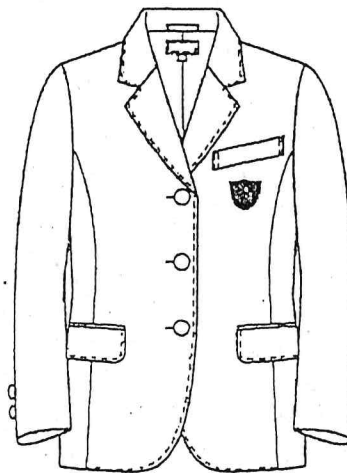


ネクタイ (紺ベース)

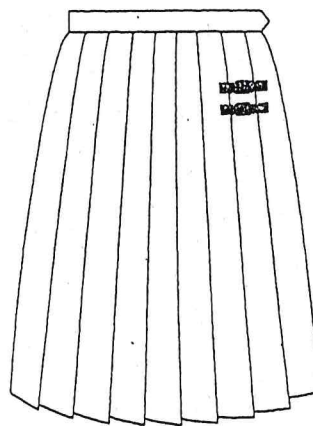


女子

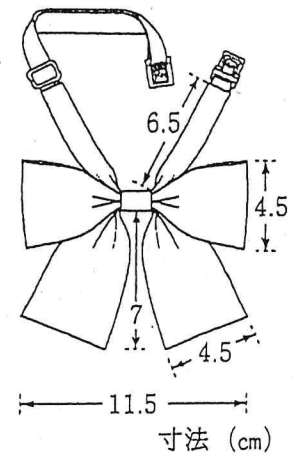
上着



スカート



リボン (紺ベース)



スラックス

